

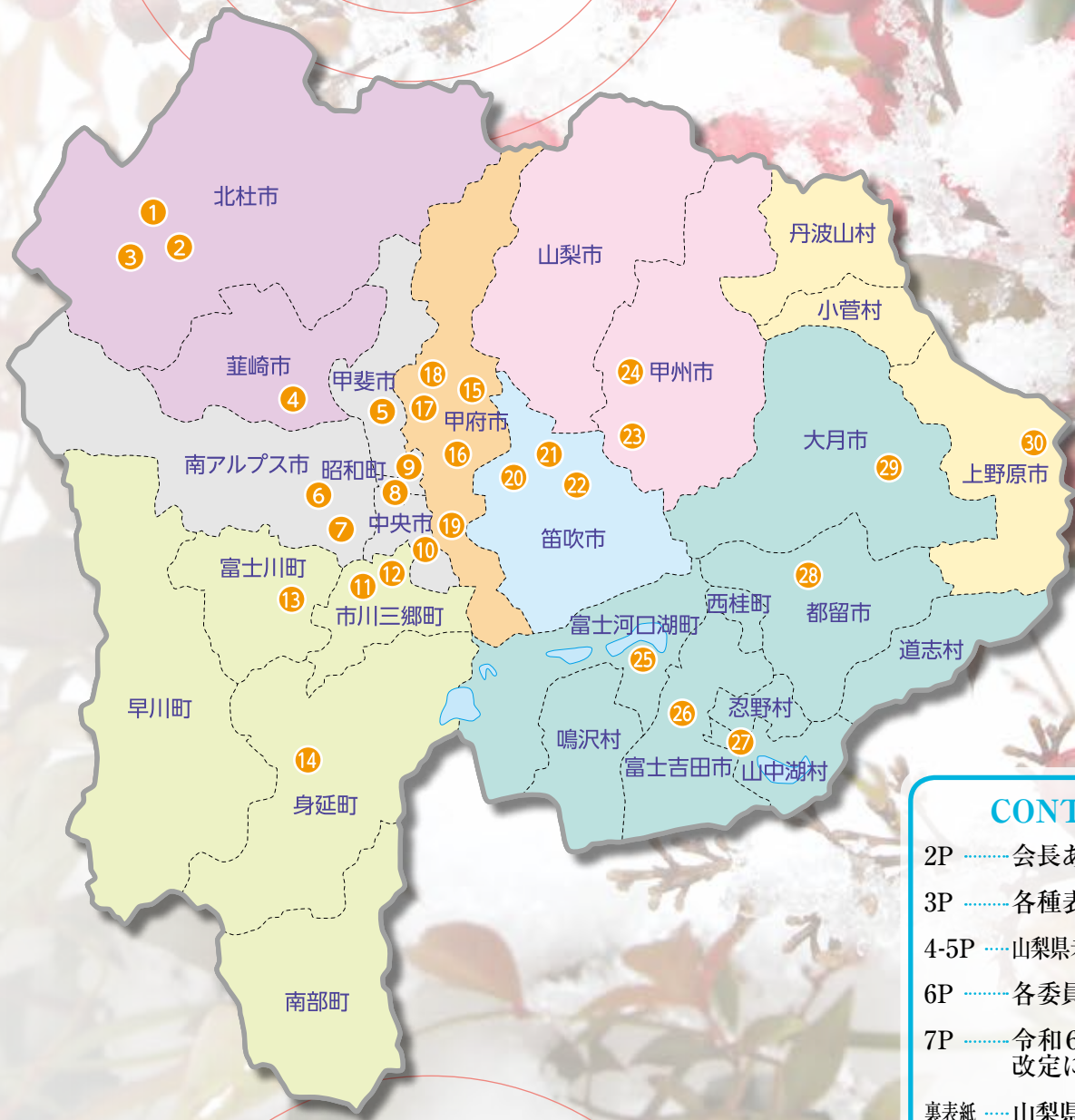
YAMANASHI

2024.1

Vol.54

山梨県老人保健施設協議会広報誌

ろけけん



CONTENTS

- 2P 会長あいさつ
- 3P 各種表彰受賞者
- 4-5P 山梨県老人保健施設大会
- 6P 各委員会よりお知らせ
- 7P 令和6年度介護報酬改定について
- 裏表紙 山梨県介護老人保健施設一覧

2024 Greeting of a new year

～ 安心して生活できる(働ける)老健 ～

山梨老健の皆様、新年あけましておめでとうございます。3年以上続いたコロナ渦の日々ですが、皆様の献身的な奮闘で山梨県の老人介護は崩れることなく維持できていることに、心から感謝致します。

激動の日々は続きます。今春は3年に1度の介護報酬改定です。しかも今年は6年に1度のトリプル改定(医療保険、介護保険、障害福祉)が行われます。介護保険をダウンさせるわけにはいきませんが、わが日本国にはお金がありません。改定に向けては厳しいせめぎ合いが続いています。

ニュースや新聞などで御覧頂いているかと思えますが、政府は昨年より賃金3～5%アップと云う努力目標を掲げています。その結果、全職種平均で3.6%の賃金アップが達成されました。ところが介護現場の賃金アップは1.4%に留まっています。なぜこんなことが起こるのでしょうか？介護現場の努力不足や、悪徳経営者の搾取などではありません。私たち老健は国が定めた公定価格で運営しているので、どれだけ頑張っても公定価格以上に収入を増やすことが出来ないのです。そこで老健職員の収入を3%増やすためには、老健の収入源である介護報酬が3%アップされることが必要なのです。

私は3年前より全老健常務理事と老健連盟執行役員を務めています。大変な要職を引き受けた理由は、高齢者が安心して生活できる環境を創ること、そして介護施設で働く職員の待遇改善を実現するためです。このふたつの目的の重さは全く一緒です。介護報酬改定に向けては、全老健を始めとした国内の介護団体が一致団結して厚労省、財務省、政府に報酬アップを働きかけています。先日は「地域包括ケアシステム・介護推進議員連盟」総会が行われ、介護団体代表から麻生太郎連盟会長に要望書が提出されました。会議の席では私も、介護現場の厳しい現状と、介護職の他職種への流出が始まっていることを発言させて頂きました。(結局、1.59%のアップに留まりそうですが)

介護の現場を守るために大切なことは、全国の介護施設で働く仲間が団結して政府に働きかけることです。自分たちの生活を守るためには、介護報酬改定は他人事ではありません。しっかりと関心を持ってください。そして安心して高齢者が生活できる老健、安心して職員が働ける老健を創りましょう。

今年も何卒宜しくお願いします。



山梨県老人保健施設協議会 会長

福田 六花

全老健表彰受賞者よるこびの声

コロナ禍の中より一層の努力を

介護老人保健施設 はまなす



「老健はまなす」は、2002年（平成14年）11月に富士北麓（富士河口湖町）に開設しました。富士河口湖町は観光地、別荘地、農村、ベッドタウンなど多くの顔を持つ場所であるため、老健に対する要望も様々です。地域の需要に対応するために施設を徐々に拡充し、現在は入所90床（認知症専門棟40床）、ショートステイ専門棟19床、デイケア20名、デイサービス20名、グループホーム9名の大所帯になりました。開設当初より、医療依存度の高い方の受け入れ、ち密な薬剤調整、リハビリスタッフの充実、身体拘束ゼロ、各種行事の充実、利用者さま本位の温かくアクティブな介護に取り組んできました。職員全員が力を合わせ、地元の皆さまに支えられて、人生の後半に安心して生活して頂ける施設になれているかと思えます。

全力で突き進んできた21年に対して全老健協会表彰を頂けたこと、心から嬉しく思います。これからも利用者さまの様々なニーズに振り回される介護を実践していきます。



施設と共に

ノイエス 介護福祉士 飯高 洋さん



この度は、全国老人保健施設協会表彰をいただき、誠にありがとうございます。

私は、平成20年に入職いたしました。当時の私は、介護の仕事に踏み入れたばかりで、一日の業務の流れを把握することが精一杯でした。

今振り返ると、日々の様々なケアをさせていただく中で、新たな発見をしたり、時には思い悩んだり挫折したりと、多くの壁にぶつかってきました。その度に、諸先輩方のアドバイスに支えられ、同僚の助言で励まされてきました。ご利用者様の「ありがとう」の一言に幾度も救われたこともあります。現在は、アドバイスを

する側の立場となり、未熟だった頃の自分を思い重ねることがあります。

長い月日の中、施設は様々と変化し、責任ある業務が増え、困難なことも多くありますが、その反面、得られる達成感や喜びは増えたように思います。

施設は、多職種で成り立っています。その中でも、生活の場で一番身近で関わっているのは、介護職だと私は思います。ご利用者様が、安心して生活できるゆとりある空間づくりを目指し、これからも施設と共に更なる成長をしていきたいと思えます。

感謝の気持ちを忘れずに

介護老人保健施設NAC湯村 支援相談員 内藤 克博さん



このたび、名誉ある賞を授かりましたこと、大変光栄であり感慨深い喜びを噛みしめております。これも一因に、多くの皆様からの温かいご支援のおかげであり、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

私は、平成9年4月に当施設が開設されて以来、介護職として入所と通所をそれぞれ3年間経験させていただきました。高齢者介護の現場での喜びと難しさを学ぶことができ、介護スキルの向上とともに人間性も豊かになりました。振り返ると、6年間の現場経験は、成長の礎となる貴重な期間でした。

現在は支援相談員として、老健施設の幅広い機能性を発揮しながら実践するチームケアにやりがいを感じて

おります。

時が経つのは早く、既に25年以上が経過しました。優れた志を持つ上司や信頼できる仲間を支えられ、笑顔で心地よく仕事ができる職場環境に心から感謝しています。

これからも介護の仕事に誇りをもちながら、魅力的な老健施設の運営を目指し、決意を新たに職務に尽くす所存でございます。

功労大臣表彰受賞者よるこびの声

私大切にしているもの

甲州ケア・ホーム 介護福祉士 関口 隆子さん



令和4年には、「公益社団法人全国老人保健施設協会表彰」を頂戴し、令和5年には、「介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰」を頂けることになり、大変な驚きと共に名誉ある賞を頂けることを大変嬉しく思います。

今年は、数年に渡り猛威を振った新型コロナウイルス感染症の困難を乗り越え、落ち着きを取り戻そうとしていますが、施設における感染対策は引き続きご利用者、ご家族には施設生活状態です。このような中で、今回表彰を受けることができたことは大変な励みになります。厚く御礼申し上げます。

感染症もさることながら、介護職の人手不足も深刻な状態も続いています。私が、これまで介護職として仕事のできたことは、仕事の中で信頼できる仲間や上司に出会えたからです。業務改善や処遇面での優遇も大切ですが、一番大切なものは職場での人との出会いです。

私は、この出会いを一番大切にしたいと思えます。そして、介護職として誇りをもちこれまでの経験を生かしながら、施設の発展と向上また介護の質の向上に尽力し邁進する所存でございます。

3食胃ろうから3食経口・その先の夢 ～ピザが食べたい！～

介護老人保健施設はまなす 言語聴覚士 江頭 希さん



施設は口から食べることに重きを置き、食事形態も「できる限り形あるものを食べていただく」という方針で長年やって参りました。今回の演題の取り組みも、普段からのこの想いがあったからこそ実現できたと思っています。

3食胃ろうで嚥下能力が低下した方に食事を進めていくことは、リスクも伴うため、言語聴覚士として少なからず不安やプレッシャーを感じてきました。しかし、「ピザが食べたい！」というご本人の強い希望と、その夢を叶え

たいという多職種やご家族の協力体制があったおかげで、前向きに積極的に取り組むことができました。

当施設へ入所した方やそのご家族から、たとえ誤嚥リスクが高くとも「食べたい・食べて貰いたい」といった声をよく耳にします。それだけ「食べる」ということは求められているのです。このような想いを少しでも叶えていけるよう、今後も精進して参ります。

未来志向の運営を目指して ～ブランディングの鍵となる 革新的なプロジェクト～

介護老人保健施設NAC湯村 支援相談員 内藤 克博さん



今回は、当施設のブランディング戦略である「SNS・ロゴマーク・SDGs・CS」の4つのプロジェクトチームの体制作りと進捗状況について発表させていただきました。

体制作りの過程では、各チームがミーティングを通じて課題を見つけたり、アイデアを出し合ったりして、円滑なコミュニケーションを図ることができました。現在も順調にプロジェクトは進行しています。

アフターコロナ時代におけるブランディングの導入は、大きな価値を生み出す可能性があります。各施設が魅力や強みを前面にアピールすることで、利用者様はニーズに合った施設を選択でき、居宅のケアマネジャーや病院のソーシャルワーカーにも理解を広めることで、紹介ミスマッチを防止できます。そして、介護の人材も施設の魅力に惹かれ「ここで働きたい！」と思うはずです。

皆様、山梨県の老健施設全体のレベルアップのために、また、利用者様や介護人材から選ばれる施設になるために、積極的なブランディングに取り組んでいきましょう！

第26回 山梨県 老人保健施設大会 優秀演題紹介



ベトナム旅行だって行けちゃうチームの取組 ～生きる力を引き出すリハビリ～



峡西老人保健センター 作業療法士 梶山 茜さん

峡西老人保健センター通所リハビリテーションは、令和3年度からリハビリテーションマネジメント加算を算定させていただいております。今回、「リハビリテーション会議（以下、リハ会議）の有用性」について発表をまとめさせていただきました。コロナ禍でのリハ会議の開催でしたが、他事業所様の協力の元、オンラインも用いながら支援者全員参加を目指し、取り組みました。利用者様やご家族様の意向を踏まえ、「報告の場」でなく「話し合いの場」となるようすすめていくことに重点をおいてきました。今回の事例は、ご本人を取り囲む支援者間のチーム力強化が図れ、ご本人の「孫に会いにベトナムへいきたい」という目標達成へとつながりました。身体的な向上はもちろんですが、在宅生活を送る利用者様にとって、『その人らしい生きる力』を引き出すケアやリハビリを今後も目指していきたいと思っております。

利用者様の笑顔を引き出すために ～隙間時間を活用して～

甲府相川ケアセンター 介護福祉士 駒井 梨香さん



この度は優秀演題賞に選んでいただきありがとうございました。

今回の発表に携わった職員共に入職して2、3年目となる私たちが現状の認知症棟を少しでも変えていきたいと思ったことがきっかけで、今回の発表に至りました。

話し合いや先輩職員にアドバイスをもらう中で、内容がどんどん膨れ上がり、取り組み時間の確保や職員の誰が見ても分かりやすい表を作ることに苦労しました。

しかし発表に携わった職員がそれぞれの苦手分野を補ったり、他の職員が協力してくれたため、無事にやり遂げることが出来ました。

今回、初めての老健大会という大舞台のために何回も練習を重ねましたが、練習通りにいかなかった部分もあり反省点も多々ありました。しかし皆様に優秀演題賞に選んでいただき、大変うれしく思っていると同時に、この演題発表にあたり協力してくれた利用者様や職場の上司や同僚職員には本当に感謝しています。この経験を活かし、これからも日々の仕事に精進していきたいと思っております。

各委員会よりお知らせ



「第26回山梨県介護老人保健施設大会」について

10月25日、甲府記念日ホテルにて第26回山梨県介護老人保健施設大会が開催された。4年ぶりの会場での開催、コロナに加えインフルエンザの感染懸念がある環境下では、感染対策を勘案し、従前の半分の規模での開催となった。

過去3年間コロナ感染懸念により会場での開催を断念せざるを得ない状況であったが故、今年こそはと会場開催に向け期初から準備を進めた。従前の半分の規模での開催をお知らせしていたが、思いのほか各施設の老健大会に対する希求度・熱意が高く、参加予定200名と、当初計画を大幅に上回った中での開催となった。

基調講演では福田会長の「温かく、アクティブに、穏やかに、お年寄りのお世話を続けひとりでも多くの方を在宅復帰に導きましょう」という思いを各人が心に刻まれた中で、20施設22演題の発表を共有することができました。

4年ぶり、素晴らしい大会だったと思います。年1回の老健協最大の行事、来年はぜひとも従前の規模での開催を計画し、より多くの施設の皆様と、この思いを共有できることを願います。



今年度、福利委員会では施設職員のスキルアップと自己啓発を促進するため、図書カードの配布事業を実施しました。通常、福利委員会はソフトボール、ソフトバレーボール、ボーリング大会の企画・運営が主な役割ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で施設間の交流が難しい状況から、令和3年度より



図書カードの配布事業を導入しています。

来年度の企画については、従来のイベント再開と新規イベント導入の双方に対し検討が進んでいます。従来のイベント再開には人手不足や感染対策の問題が懸念されます。また、新たな企画の立案と実施には労力と時間が必要です。福利委員会はこれらの課題を踏まえつつ、慎重な協議を経て、来年度の取り組みを決定していく予定です。

福利委員会では各施設の実情に合わせ、福利のあり方を見直し、職員の皆様が少しでも喜んでいただける取り組みを考えています。皆様のご意見等がございましたら、ぜひとも福利委員会までお願いします。



各施設持ち回りブログ！
各施設老健スタッフからの話題満載で面白い!!

各施設持ち回りブログ更新スケジュール

「山梨ろうけん」ホームページの目玉の一つ「各施設持ち回りブログ」は、加盟30施設がブログをつなぎ、3巡目になりました。毎月1日と16日、月に2回のペースで更新しています。

日々の出来事や情報、地域や季節話題、老健施設で働くスタッフの趣味活動等が、ブログで多種多彩に展開しており大変好評です。是非ご覧ください。

会員の施設の方は、引き続きブログ作成のご協力を宜しくお願い致します。

No.	更新日	担当施設	圏域
83	2024年1月1日	甲府相川ケアセンター	甲府
84	1月16日	サンビューふじかわ	峡西・峡南
85	2月1日	ケアホーム花菱	峡西・峡南
86	2月16日	勝沼ナーシングセンター	峡東
87	3月1日	フルリールむかわ	峡北
88	3月16日	みのりの里旭ヶ丘	富士北麓・東部
89	4月1日	山中湖あんずの森	富士北麓・東部
90	4月16日	フルリール甲府	甲府
91	5月1日	はまなす(4巡目↓)	富士北麓・東部
92	5月16日	玉穂ケアセンター	甲府
93	6月1日	峡北シルバーケアホーム	峡北
94	6月16日	ももくら	富士北麓・東部
95	7月1日	甲州ケア・ホーム	峡東
96	7月16日	つる	富士北麓・東部
97	8月1日	山梨ライフケア・ホーム	甲府
98	8月16日	あさひホーム	峡北



令和6年度 介護報酬改定の改定について

令和5年12月20日の予算大臣折衝を踏まえ、令和6年度の介護報酬改定は、以下のとおりとなった。

改定率 +1.59%

【内訳】

介護職員の処遇改善分 +0.98% (令和6年6月施行)

その他の改定率(※) +0.61%

※賃上げ税率を活用しつつ、介護職員以外の処遇改善を実現できる水準

また、改定率の外枠として、処遇改善加算の一本化による賃上げ効果や、光熱水費の基準費用額の増加による介護施設の増収効果として+0.45%相当の改定が見込まれ、合計すると+2.04%相当の改定となる。

★今後、(1月中旬頃)介護報酬改定案(諮問、答申)が行われ介護報酬単価が決定しますので、最新の情報に注意して各施設で改定に向け準備し、利用者様や関係機関等へ発信できる体制を整えておきましょう。

令和5年度末で経過措置期間を終了する 令和3年度介護報酬改定における改定事項について

令和6年度義務化されるもの

- 1, 高齢者虐待防止に関するもの
- 2, 無資格者の認知症介護に係る基礎的な研修の受講
- 3, 感染症の予防及びまん延防止に関するもの
- 4, 業務継続計画の策定等
- 5, 栄養マネジメントに関するもの
- 6, 口腔衛生に関するもの

令和6年度の介護保険制度改正により、経過措置期間満了となりますので、それまでに確実に実施できるよう、基準省令等を確認の上、体制整備を行っておきましょう。

山梨県介護老人保健施設一覧

☎ : 電話 📠 : FAX ✉ : E-mail

1 峡北シルバーケアホーム 〒408-0023 北杜市長坂町渋沢907 ☎0551-32-6211 📠0551-32-6215 ✉kyohoku@crux.ocn.ne.jp	11 ケアセンターいちかわ 〒409-3601 西八代郡市川三郷町市川大門416 ☎055-272-5121 📠055-272-5131 ✉ci-jimu@kyonan-mc.jp	21 ふじ苑 〒406-0004 笛吹市春日居町小松855-6 ☎0553-26-5001 📠0553-26-3574 ✉fujien@hyper.ocn.ne.jp
2 しおかわ福寿の里 〒408-0114 北杜市須玉町藤田787 ☎0551-42-4604 📠0551-42-4101 ✉salt2910@poppy.ocn.ne.jp	12 ナーシングプラザ三珠 〒409-3612 西八代郡市川三郷町上野2968 ☎055-272-8611 📠055-272-8653 ✉momo6154@herb.ocn.ne.jp	22 いちのみやケアセンター 〒405-0076 笛吹市一宮町竹原田1255-1 ☎0553-47-4811 📠0553-47-4815 ✉icare777@oregano.ocn.ne.jp
3 フルリールむかわ 〒408-0307 北杜市武川町柳澤740-1 ☎0551-26-0111 📠0551-26-0112 ✉info@fluriru.com	13 サンビューふじかわ 〒400-0601 南巨摩郡富士川町鯉沢340-1 ☎0556-22-7301 📠0556-22-1665 ✉daiyou@kajikazawa.com	23 勝沼ナーシングセンター 〒409-1302 甲州市勝沼町菱山中平4300 ☎0553-44-5311 📠0553-44-5221 ✉knc@bird.ocn.ne.jp
4 あさひホーム 〒407-0045 韮崎市旭町上条中割473 ☎0551-23-3500 📠0551-23-3505 ✉asahikai@poem.ocn.ne.jp	14 峡南ケアホームいいとみ 〒409-3423 南巨摩郡身延町飯富1655 ☎0556-42-4314 📠0556-42-4331 ✉iitomi.ro-ken@gaea.ocn.ne.jp	24 恵信塩山ケアセンター 〒404-0042 甲州市塩山上於曾1195 ☎0553-33-3205 📠0553-33-3207 ✉keishin-n@ab.auone-net.jp
5 山梨ライフケア・ホーム 〒400-0111 甲斐市竜王新町2128 ☎055-279-4711 📠055-279-4713 ✉lifecare@bd.wakwak.com	15 甲府かわせみ苑 〒400-0802 甲府市横根町554 ☎055-222-2900 📠055-222-6600 ✉seishou@crux.ocn.ne.jp	25 はまなす 〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6901 ☎0555-83-3285 📠0555-83-3286 ✉hamanasu@toranomom.or.jp
6 峡西老人保健センター 〒400-0405 南アルプス市下宮地421 ☎055-282-7000 📠055-282-7003 ✉careport@feel.ocn.ne.jp	16 甲府南ライフケアセンター 〒400-0851 甲府市住吉5-24-14 ☎055-241-3333 📠055-241-7564 ✉kofuminamilife@mx4.nns.ne.jp	26 白樺荘 〒403-0006 富士吉田市新屋1552-3 ☎0555-24-4211 📠0555-24-4212 ✉sirakaba@fgo.jp
7 ケアホーム花菱 〒400-0402 南アルプス市田島1105 ☎055-280-8700 📠055-280-8701 ✉hanabishi@isis.ocn.ne.jp	17 N A C 湯村 〒400-0073 甲府市湯村3-15-13 ☎055-253-2200 📠055-253-2203 ✉rouken@nac-yumura.com	27 山中湖あんずの森 〒401-0501 南都留郡山中湖村山中1069-3 ☎0555-63-2333 📠0555-62-9999 ✉yamanakakoanzunomori@juno.ocn.ne.jp
8 ひばり苑 〒409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰1277 ☎055-275-9511 📠055-275-9512 ✉hibari-office@takekawa-kai.or.jp	18 甲府相川ケアセンター 〒400-0003 甲府市塚原町359 ☎055-252-1600 📠055-252-1602 ✉aikawa@kashinokai.or.jp	28 つる 〒402-0056 都留市つる5-1-55 ☎0554-45-1813 📠0554-45-1006 ✉rouken@hp.city.tsuru.yamanashi.jp
9 ノイエス 〒409-3863 中巨摩郡昭和町河東中島443 ☎055-275-1165 📠055-275-1161 ✉neues@sage.ocn.ne.jp	19 フルリール甲府 〒400-0055 甲府市大津町1509-1 ☎055-244-0202 📠055-244-0033 ✉ootsu@ray.ocn.ne.jp	29 ももくら 〒409-0622 大月市七保町下和田2132-1 ☎0554-20-1111 📠0554-20-1119 ✉momokura@biscuit.ocn.ne.jp
10 玉穂ケアセンター 〒409-3812 中央市乙黒247-1 ☎055-273-7331 📠055-273-7360 ✉syojukai@yin.or.jp	20 甲州ケア・ホーム 〒406-0032 笛吹市石和町四日市場2031 ☎055-263-0242 📠055-263-2250 ✉carehome@krg.ne.jp	30 みのりの里 旭ヶ丘 〒409-0112 上野原市上野原7806 ☎0554-63-5800 📠0554-62-6006 ✉jimu@keifuu.or.jp

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会広報委員会
 介護老人保健施設あさひホーム内

〒407-0045
 山梨県韮崎市旭町上条中割473
 TEL 0551-23-3500 FAX 0551-23-3505
 E-mail : asahikai@poem.ocn.ne.jp